



美瑛町ことばの教室 2024・9・19 No. 7 (通算381)

1年間の折り返しです！

ようやく過ぎしやすくなりましたね。先週までの水遊びでは、季節を生かし、夏にしか出来ない活動を通して様々な感覚を刺激しながら、楽しい活動の中でも自分で考えて行動をコントロールしたり、力加減をしたり、お友達に譲ったりと、様々なねらいをもって取り組んできました。保護者の皆様におかれましては、ことばの教室の活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。お子さんたちの「夏の楽しい記憶」になればと願っています。

さて、早いもので1年の折り返しの時期になりました。9月後半の面談では、お子さんの現在の様子を聞かせていただきながら、改めて成長や課題を共有し、後期の支援計画や指導計画の見直しをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

年 組 _____ さん

通級時間は _____ 曜日 _____ 時間目 (_____ : _____ ~ _____ : _____) です

※色のついているところが通級日です！

10月の予定



1日(火) = 就学時健診のため午後休室

2日(水) = 上川中部地区教育研究大会のため臨時休業

8日(火) ~ 25日(金) = 美瑛小学習発表会特別時間割のため、美瑛小通級児は休室

※月曜日のお子さんは、回数が少ないため、7日(月)は指導を行います。

26日(土) = 美瑛小学習発表会

28日(月) = 美瑛小学習発表会振替休業日

月		火		水		木		金	
		1	就学時健診	2	中部地区研究大会	3	特	4	
7	特 特別時間割開始	8		9	朝会	10	特	11	避難訓練
14	スポーツの日	15	特	16		17	特	18	
21	特	22		23	児童公開日	24	特	25	
28	振替休業日	29	特	30		31	特		

※「特」の表記は美瑛小学校が特別日課の日です。

子どもの成長と脳の発達

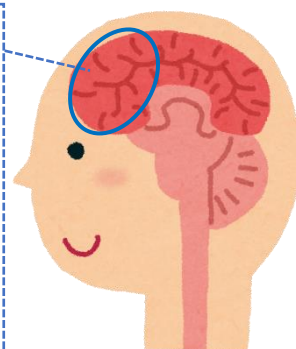
子どもの行動や感情のコントロールに関して、焦りや不安を感じるというお悩みをいただくことが度々あります。今回は、現在少しずつ解明されてきている脳科学の視点から、「前頭葉」の発達が子どもの成長にもたらす影響について考えていきたいと思います。

〈前頭葉の役割とは？〉

前頭葉は、運動や言語、感情などを司っています。中でも前頭前野と呼ばれる領域は、子どもの行動や感情のコントロール、社会的スキルの習得に大きな影響を与えます。この領域は1歳頃から育ち、主に6～14歳くらいを中核として、18歳くらいまでに急速に発達します。

【前頭前野の働き】

- 考える
- 行動や感情をコントロールする
- コミュニケーションをとる
- 記憶する
- 集中する
- プランニング など



〈前頭葉の発進が進むと…〉

感情的になりやすい
⇒冷静に対処できる

場に応じた言動が難しい
⇒他者の感情や状況を理解する



社会的スキルの習得

自己制御能力の向上

計画性と問題解決能力の向上

友だちとのトラブル
⇒自分で解決する



遊びをやめられない
⇒行動をコントロールする



宿題が終わらない
⇒計画的にこなす



〈前頭葉の発達を促すためにできることは？〉

☆規則正しい生活

規則正しい生活と十分な睡眠（体を動かす・食べる・寝る）で、まずは土台となるからだの脳（間脳・脳幹）を育てることが最も重要です。（※育てる順番は、前頭葉よりもこちらが先!!）

☆発達を促す遊びを取り入れる

体を使った遊びや創造的な遊び、パズルやボードゲームなど、計画性や問題解決能力を養う遊びを取り入れましょう。

☆成功体験を積ませる

スモールステップから始めて成功体験を積み重ね、自信をもって挑戦する力をつけていきましょう。

☆忍耐強く待つ・適切なサポートを提供する

子どもの成長には個人差があります。成長を待つことも必要です。ただし、前頭葉の機能が働きにくいという特性がある場合は、「必要な時には助けを借りる方法」や、「自分でできる手立て」を子どもと一緒に見つけていきましょう。

参照：「その『一言』が子どもの脳をダメにする」 SB新書 成田奈緒子・上岡勇二

・療育・児童発達支援スクール コペルプラス (http://copelplus.copel.co.jp/column/2406_19/)